

# 事業報告：平成 28 年度第 8 回城山地区福祉のつどい参加事業

障害者・高齢者 IT 支援事業の普及啓発 パソコンひろば

パソコンひろば 相模原  
平成 28 年 11 月 18 日

## はじめに

### 目的

今や、パソコン及びインターネットの利用は生活の一部となっています。そのような中、障害、加齢、貧困などの様々な理由により、情報利用に困難を抱える人、つまり情報弱者が依然としていることも現実です。

私達は情報弱者（障害者や高齢者）が一人でも減ってほしいと願い、IT 支援を行っています。みんなが集まり、時にパソコンから離れた話題など一緒にわいわいがやがやと過ごすことにより、IT 利活用は便利で豊かな生活を送ることができる、そう市民へ伝えていきたいと思っています。

障害に寄り添った丁寧なサポートを心がけているパソコンひろば（パソコンボランティア）団体として、地域の方々とのつながりを深めていきたいと考え「城山地区福祉のつどい」に参加します。

## 実施概要・・・当会部分

- ◆テーマ 障害者・高齢者 IT 支援事業の普及啓発 パソコンひろば
- ◆日時 平成 28 年 11 月 3 日（火・祝）10：00～14：30
- ◆場所 城山保健福祉センター 1 階 健診室
- ◆主催 第 8 回城山地区福祉のつどい実行委員会
- ◆内容
  - (1) パソコンお楽しみコーナー（無料名刺作成）
  - (2) IT 支援機器の展示・体験（相模原市社会福祉協議会所有）
  - (3) 認知症予防啓発
  - (4) 折り紙で手先を使おう
  - (5) 団体の広報
  - (6) プレゼント配布
- ◆参加者 会員 11 名（IM、KT、KA、KO、SK、TS、TS、TY、FS、MH、MM）
- ◆ブース来場者 述べ 330 名（名刺作成 55 名、折り紙 47 名、他） ref. 下表

### ◆内容と結果

内容		結果、体験者数等
(1) パソコンお楽しみコーナー	名刺作成	PC 2 台、プリンター 2 台使用 体験者 55 名（子ども 24 名、大人 31 名）
(2) IT 支援機器展示・体験：相模原市社会福祉協議会所有物	便利なマウス	上肢障害でも使えるマウスの紹介 体験者 0 名 マウス代替機器（トラックボール、らくらくマウス）
(3) 認知症予防啓発	脳活性化にパソコンを！	社団法人認知症予防協会認知症自己診断テスト・解答 体験者 21 名
(4) 折り紙で手先を使おう	折り紙	お正月飾りにもなる祝い鶴の作製 体験者 47 名
(5) 団体の広報	活動紹介	団体チラシ配布 80 枚
(6) プレゼント配布	団体の周知	準備した総計 350 個を 133 名へ提供 寄贈された①ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会様のマウスパッド 12 枚とフォトスタンド 10 個、②J-オイルミルズ（株）様のショッピングバッグ 88 枚、

		会員提供の葉牡丹苗、花梨、ボールペン、文具、ノート、メモ帳、耳かき、エコバック、ポーチ、ハンカチ、ソックス、パンスト、食器、台所用品など小物 多数
その他見学のみの方		見学者 74 名

### 2016年福祉のつどい集計表 最終版

内容	時間帯	大人			中学生以下の子ども			合計
		男性	女性	小計	男の子	女の子	小計	
名刺作成	10～11	5	9	14	3	1	4	18
	11～12		7	7		3	3	10
	12～13		4	4		6	6	10
	13～14		1	1		10	10	11
	14～15	2	3	5		1	1	6
	小計	7	24	31	3	21	24	55
代替マウス				0			0	0
認知症自己診断	10～12	2	17	19			0	19
	12～15	2		2			0	2
	小計	4	17	21	0	0	0	21
折り紙	10～12		24	24			0	24
	12～15	6	11	17	2	4	6	23
	小計	6	35	41	2	4	6	47
プレゼント	10～12	2	3	5	1	8	25	30
	12～15	14	76	90	8	21	25	115
	小計	16	79	95	9	29	38	133
見学者	10～12	3	1	4			25	29
	12～15	21	24	45	7	18	25	70
	小計	24	25	49	7	18	25	74
合計		57	180	237	21	72	93	330

一度に大勢の人が集中するとカウントが難しく、昨年との比較もできません。しかし、今年の傾向を見ると、来客者合計は 330 名で、女性（大人+子ども）が多く男性（大人+子ども）の約 3 倍で、女性は元気で社交的なことが分かります。今年は子どもが少なかったです。

各コーナーでは、名刺作成は 55 名、大人女性は大人男性の 3 倍、子ども女子は子ども男子の 7 倍。今年初企画の折り紙では子どもも男性も少数ながらも参加があり一緒に楽しまれ、女性 39 名が華を添えてくれました。プレゼントの 133 名では女性が男性の 4 倍でした。何も手にされなかったがブースの様子を興味深く見学した方は 74 名で、男性が目立ちました。

## 成果

パソボラそうそう相模原が福祉のつどいに参加するのは、今年で連続 5 回目になりました。

私達のブースは健診室の一番奥、昨年同様のスペースで、目立ちにくいところです。そのため背後にあるホワイトボードを生かして模造紙で作った折り紙のパネルを貼り、視覚効果を高めました。

さて、ブースの状況ですが、障害があってもパソコンの利用が可能になる支援機器があることを紹介したコーナーの体験者は残念ながらゼロでした。地道な周知活動が大事で継続していきます。

名刺作成では、受付を設け、受付番号とお気に入りの雛形番号を記入した受付票を発行しました。これまでの様に、パソコンの前に座ってから雛形ファイルを見て選ぶ方法より順調に進行しました。今年もリピーター参加あり、嬉しいです。印刷された用紙を折り曲げ折り返して簡単に名刺サイズになると、笑顔がこぼれていました。

認知症自己診断テストコーナーでは昨年より減少して 21 名が体験、年配の方にお勧めしましたら「私はもういいの！」と逃げられてしまいました。

また、今年もお気持ち箱（募金箱）を設置し、城山地区社協様への支援を呼びかけたところ、暖かいお気持ち

1,882円が集まり、当会から同額を上乗せして城山地区社協様へ寄附をいたしました。

今年の新たな企画としては折り紙、お正月飾りにもなる華やかな祝い鶴を皆さんに折ってもらいました。手先を使うことは認知症予防にもなると言われています。想定外の人気でほっとしました。

今年も、公益社団法人日本フィランソロピー協会様「あげます・もらいます」活動に応募・当選したジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会様よりマウスパッドとフォトスタンド、昨年頂いた株式会社J-オイルミルズ様のショッピングバック残部と、会員提供の品も含めて多数プレゼントができ、集客に貢献できました。

紙袋にチラシを入れて配布したので、団体広報の目的は果たせたのではないかと思います。城山保健福祉センターで金曜日開催の教室「パソコンひろば」の受講者とサポーター両方に関心を持ってもらえれば会員増加につながるため今後に期待します。

地域の福祉関係団体が丸となった実行委員会形式での開催で、これだけ多くの方が参加するのは地域のつながりの強さがあるからこそだと実感しました。私たちもつながりを作ることができたかなと思います。

参加会員の感想	
MH	福祉のつどいでのお手伝い、私は初めての参加でした。折り鶴コーナーでは始めからお客様が次々と来てくださり嬉しかったです。教え方はまだまだ未熟ですが、一度に3人も対応したときはとても忙しくて大変でした。でもきれいに出来た人が喜んでくれたので良かったです。
KO	当日は勿論の事、その前からの準備等、何回も打ち合わせご苦労様でした。 福祉のつどい11月3日は朝から青空、秋晴れの良い天気、幸いでした。皆さん朝早くからの準備。どのテーブルの上にも荷物が盛りだくさん。準備も整い定時にはお客様の来訪。 例年より落ち着いている名刺作成。女子小学生の数が多くサンプル選びの好みも例年より変わってまいりました（サンプルをもう工夫…）。 認知症は矢張り関心が高く、去年同様に立ち寄る方も多く見られます。熱心に。 今年初めての折り紙はなかなか人気があり、素敵な祝い鶴が出来上がります。 企業・個人からの寄付物品、こちらも皆様に喜ばれました。 こうして年に一回の福祉のつどい！みんなで協力し合いながら和気あいあいの時間、そして充実した時間でした。頂いた花梨、夜にはフォークで何箇所かに穴を開けてお風呂へ。花梨風呂で疲れを取りました。何ともいいがたい優しい香り…、心身ともに豊かな気分誘われます。
SK	昨年の本つどいを覗いたのがきっかけでした。「パソボラそうそう相模原」の活動を知り、12月で仕事を辞めたのを機会に今年初めから「城山パソコンひろば」でお世話になることになり現在に至ります。今回「名刺作り」のコーナーを担当しましたが、沢山の方に喜んで頂けたと思います。特にパソコンに抵抗のない子どもさんに興味を持って頂けたことは将来が楽しみだと思えます。また、自宅に帰って話題にして頂くことでPR効果も期待できると思えます。 プレゼントコーナー、折り紙コーナーなど準備に大変な苦労もあったと思いますが、皆さんで協力したことで盛況に終わることが出来たと思えます。結果、達成感も感ずることは出来、良かったと思えます。
IM	コスモス、やはり欲しかったです。花梨は利用法やレシピの引き合いがあり、次回は準備しようと思えます。 認知症では午前中の11時ころがピークで行列待ちができました。待ち時間が長かったため、諦めた方もいました。残念です。 認知症診断テスト受講者での最高点は95点、86歳の女性の方でした。制限時間の半分以下で、計算も、記憶力もすばらしく、家では編み物を趣味でされているとのことでした。すばらしい能力のある方に出会うことができました、小生の認知症対策への鏡になりました。
TS	このような催しに参加することが全くなかった私には、この福祉の活動にたくさんの方がかかわっていることに気付かされました。私の地区でも、主に高齢者への取り組みがあり、協力できることがあるのではと感じました。 さて、担当した名刺の作成ですが、新旧バージョンで若干操作の違いはありましたが慣れるにしたがって対応することができました。開始すぐの数人は昨年からのリピーターの方で、楽しみにずっと待っていてくれたのだと聞き、準備する側には力になります。 子ども同士や家族みんなの名刺作成の楽しい手伝いが出来て良い一日になりました。

TS	<p>福祉のつどい2回目の参加です。</p> <p>パソコン教室午前が終ったあとはお弁当タイム、午後から祝い鶴の折り方を練習したり、パネルを作ったり、プレゼントの整理のお手伝いをしました。おしゃべりしながらの準備、これがとっても楽しかったです。当日用に、折り方の順に番号を付けて折った物をファイルに用意して持って行ったのが役に立ちました。特に、最初の三角と四角折りの案内線が効果的で、初めての方でも一瞬で折れたのでびっくりされていました。羽根の折り方が一番苦労されていましたね。出来上がって広げて見るとウァー、綺麗、嬉しい、と感激の声が上がリ、最後に有り難うとお礼の言葉を頂きました。私達もとても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。工夫を重ね、美しく作成したはずのパネルは皆さんにあまり見てもらえず残念です。やはり手元にあった方が実用的です。</p> <p>サークルのお友達にも宣伝しておいたので大勢来てもらい良かったです。</p>
KT	<p>天候も段々と良くなり、福祉のつどいも総じて活気づいていたような気がしました。また各ブースでは見学者自身がなにかをやる、折り紙とか切り抜き絵とか・・・、体験型に人気があったような気がしました。我がブースも折り紙、名刺づくりに人気がありました。特に折り紙は人気があったようで、場所がもう少し広く欲しかった気がしました。次回はクリスマスリースなどの作り方を入れるともっと人気が出るような気がしました。とにかく盛況な一日が過ごせてよかったです。</p>
KA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映画上映時間が2時間。この間は来場者が少なくなります。何か対策を考えなくては。</li> <li>・ 折り紙が意外に人気でした。次回は座席数を増やしましょう。</li> </ul>
FS	<p>団体のPRと地域の方々との交流を目的に参加しました。</p> <p>11名のメンバーは8:30に集合して準備を整え、各自担当の持ち場で熱心に来客の対応をしました。今年は長時間席を外す会員もいなくて、スムーズに運営でき、会の親睦も果たせました。</p> <p>一人でも多くの人にブースに寄っていただけるよう、今年もプレゼントを多数用意しました。当会のメーリングリストでの呼びかけや、また企業のCSR活動からの寄贈品も合わせて350個すべてを配布しました。もちろん、チラシも併せてお渡ししました。パソコン教室へ関心を持った方が少いので、会員増加につながれば苦労が報われます。</p>

## 今後に向けてと謝辞

私たちは相模原市とその周辺地域において、障害者や高齢者を対象としたパソコン教室を開催していますが、IT機器利活用支援が必要とされる人々へ情報が届いていないと常々感じています。地域のイベントに参加することにより、体験・見学された来場者から広く市民の皆さんへ、障害者へ、情報弱者の当事者へと、私たちの活動が浸透していくことを願っています。

パソボラ（パソコンボランティア）の略称が市民権を得るように活動を継続してまいります。さらにこれからはパソコンばかりではなく、タブレットやスマホの普及に合わせたサポートにも目を向ける必要性を考えています。

最後に、来場者へのプレゼントは、公益社団法人日本フィランソロピー協会様を通じたCSR活動によりジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会様や株式会社J-オイルミルズ様より多数の寄贈をいただいたおかげで実現できました。お礼と感謝を申し上げます。

昼食には、料理サークルの方々の手づくりカレーが振舞われ、おいしく頂きましたし、実行委員会の方々には、企画、運営、準備などでお骨折りいただきました。感謝いたします。

## 会場風景写真



◆恒例の名刺作成、優しくサポートされ老若男女でにぎわいました◆



◆認知症自己診断する真剣な体験者たち◆



◆折り紙は女性に大人気、男性も子どもも体験を楽しんでいました◆



◆ネット情報から作成した祝い鶴の折り方パネル◆



◆準備万端全員集合、今年は11名参加しました◆



寄贈品：公益社団法人日本フィランソロピー協会様の CSR 活動を通じ、今年度はジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会様よりマウスパッド、フォトスタンドをいただきました。

## 本体企画の概要

第8回城山地区福祉のつどい ～来て！見て！感じて！～

- ◆日時 平成 28 年 11 月 3 日（木祝）10：00～15：00
- ◆場所 もみじホール城山/城山保健福祉センター/つくしの家
- ◆主催 第8回城山地区福祉のつどい実行委員会
- ◆共催 城山地区社会福祉協議会/城山地区自治会連合会/城山地区民生委員児童委員協議会/城山障害者サービスセンターつくしの家/城山高齢者支援センター/
- ◆後援 相模原市/相模原市社会福祉協議会
- ◆実行委員 城山地区社会福祉協議会/城山地区自治会連合会/城山地区民生委員児童委員協議会/城山障害者サービスセンターつくしの家/城山高齢者支援センター/かわせみの家/精神保健ボランティアふきのとう/城山町家族を支える会/傾聴花みずき/男の料理士燿会/城山手話サークル水の輪会/訪問ボランティア赤秋の会/城山肢体不自由児者父母の会/相模 郷の和音/相模原市赤十字奉仕団城山分団/若葉ほっこりーな/ふれあいカフェ
- ◆協力団体 相模原市赤十字奉仕団相模原分団/神奈川県立城山高校/神奈川県立津久井高校/相模原市立相模丘中学校/相模原市立中沢中学校/おはなしゆめふうせん/おはりこくら布/パンボラそうそう相模原/ラファエル会城山薫風/しろやまカシャカシャ/朗読サービスあけびの会/福祉協会しろやま/津久井交通安全協会城山支部/城山交通安全指導員/相模あそびっ子隊/母ちゃんず（順不同）
- ◆来場者数 11/18 現在、実行委員会および城山社協による発表がありません。

パンボラそうそう相模原 代表 古川繁子  
 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-27-9  
 TEL：042-751-4604  
 E-Mail：furukawas@jcom.home.ne.jp